

# 平成 29 年度 第 3 回海老名市子ども・子育て会議 次第

日時 平成 29 年 11 月 10 日 (金)

午前 10 時から

場所 海老名市役所 3 階 政策審議室

1 開 会

2 議題

## 【 審 議 事 項 】

(1) 特定教育・保育施設の定員設定について

(2) 子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて

3 閉 会

## 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の 定員設定について

### 1 概 要

特定教育・保育施設及び特定地域型保育施設の利用定員は、市が定めることとなっており、その設定に関しては、子ども・子育て支援法第77条の定めにより、子ども・子育て会議の意見を聴くこととなっています。

平成30年度当初の新設園（認可保育所2園、小規模保育事業1園）及び定員変更（小規模保育事業1園）について、御審議をお願いするものです。

※ 海老名市では、利用定員を認可定員と同一としています。

### 2 新 設

#### (1) ひよこ保育園

種 別：認可保育所

設 置 者：NPO法人ひよこ保育園

利 用 定 員：60名（3号認定；24名、2号認定；36名）

所 在 地：海老名市上郷一丁目15番20号

開所予定日：平成30年4月1日

構 造：鉄骨造2階建

#### (2) 木下の保育園 めぐみ町

種 別：認可保育所

設 置 者：株式会社木下の保育

利 用 定 員：50名（3号認定；23名、2号認定；27名）

所 在 地：海老名市めぐみ町2番1号

開所予定日：平成30年4月1日

構 造：鉄骨造4階建（のうち1階部分の1区画）

#### (3) ぽとふ上今泉

種 別：小規模保育施設

設 置 者：株式会社ソーシェ

利 用 定 員：19名（3号認定；19名）

所 在 地：海老名市上今泉一丁目20番22号

開所予定日：平成30年4月1日

構 造：鉄筋コンクリート造5階建（のうち1階部分の1区画）

3 定員変更

海老名キッズルーム

種 別：小規模保育施設

設 置 者：鍵渡 嘉正

利 用 定 員：18名（3号認定；18名）（旧12名）

所 在 地：海老名市さつき町1番地（22-104）

変 更 予 定 日：平成30年4月1日

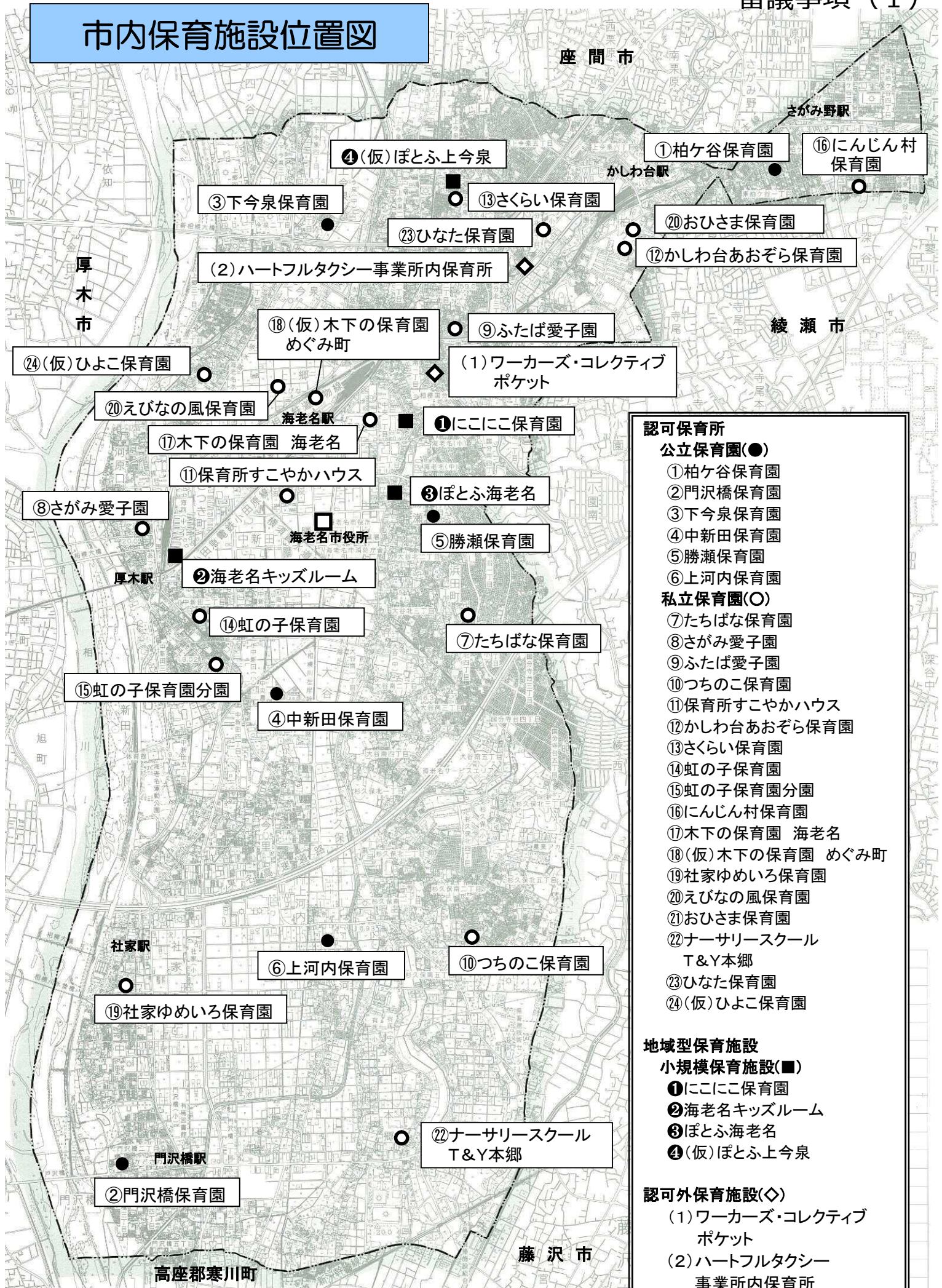
構 造：鉄筋コンクリート造3階建（うち1階及び2階部分の1区画）

※ 3号認定：0～2歳児、2号認定：3～5歳児

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の定員設定について

教育・保育施設			利用定員			計	備考
設置者区分	設置者	施設名称	3号認定	2号認定	1号認定		
<b>特定保育施設</b>							
市町村	海老名市	柏ヶ谷保育園	33	87	0	120	変更なし
市町村	海老名市	門沢橋保育園	24	36	0	60	変更なし
市町村	海老名市	下今泉保育園	48	72	0	120	変更なし
市町村	海老名市	中新田保育園	82	118	0	200	変更なし
市町村	海老名市	勝瀬保育園	25	35	0	60	変更なし
市町村	海老名市	上河内保育園	37	83	0	120	変更なし
社会福祉法人	妙常会	たちばな保育園	51	69	0	120	変更なし
一般財団法人	春秋会	さがみ愛子園	30	90	0	120	変更なし
一般財団法人	春秋会	ふたば愛子園	45	135	0	180	変更なし
社会福祉法人	寿会	つちのこ保育園	24	36	0	60	変更なし
社会福祉法人	ケアネット	保育所すこやかハウス	30	30	0	60	変更なし
社会福祉法人	あゆみ会	かしわ台あおぞら保育園	27	33	0	60	変更なし
社会福祉法人	慶泉会	さくらい保育園	24	36	0	60	変更なし
社会福祉法人	スプラウトユニティー	虹の子保育園	29	31	0	60	変更なし
社会福祉法人	スプラウトユニティー	虹の子保育園分園	12	18	0	30	変更なし
社会福祉法人	青い草の会	にんじん村保育園	27	33	0	60	変更なし
株式会社	木下の保育	木下の保育園 海老名	22	28	0	50	変更なし
<b>株式会社</b>	<b>木下の保育</b>	<b>木下の保育園 めぐみ町</b>	<b>23</b>	<b>27</b>	<b>0</b>	<b>50</b>	<b>新設</b>
株式会社	ステーション	社家ゆめいろ保育園	36	54	0	90	変更なし
社会福祉法人	プレマ会	えびなの風保育園	48	72	0	120	変更なし
株式会社	カスタムメディカル研究所	おひさま保育園	24	36	0	60	変更なし
社会福祉法人	さとり	ナーサリースクールT&Y本郷	33	45	0	78	変更なし
社会福祉法人	夢の成る木	ひなた保育園	30	42	0	72	変更なし
<b>NPO法人</b>	<b>ひよこ保育園</b>	<b>ひよこ保育園</b>	<b>24</b>	<b>36</b>	<b>0</b>	<b>60</b>	<b>新設</b>
<b>特定保育施設 計</b>			<b>788</b>	<b>1,282</b>	<b>0</b>	<b>2,070</b>	
<b>特定教育施設</b>							
個人	鍵渡 嘉正	海老名幼稚園	0	0	350	350	変更なし
個人	鍵渡 嘉正	有鹿幼稚園	0	0	210	210	変更なし
<b>特定教育施設 計</b>			<b>0</b>	<b>0</b>	<b>560</b>	<b>560</b>	
<b>特定地域型保育事業</b>							
<b>小規模保育事業</b>							
個人	木村 伸之	にこにこ保育園	19	0	0	19	変更なし
<b>個人</b>	<b>鍵渡 嘉正</b>	<b>海老名キッズルーム</b>	<b>18</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>18</b>	<b>定員増</b>
株式会社	ソーシエ	ぽとふ海老名	19	0	0	19	変更なし
<b>株式会社</b>	<b>ソーシエ</b>	<b>ぽとふ上今泉</b>	<b>19</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>19</b>	<b>新設</b>
<b>地域型保育事業 計</b>			<b>75</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>75</b>	
<b>総計</b>			<b>863</b>	<b>1,282</b>	<b>560</b>	<b>2,705</b>	

市内保育施設位置図



- 認可保育所**
- 公立保育園(●)**
- ① 柏ヶ谷保育園
  - ② 門沢橋保育園
  - ③ 下今泉保育園
  - ④ 中新田保育園
  - ⑤ 勝瀬保育園
  - ⑥ 上河内保育園
- 私立保育園(○)**
- ⑦ たちばな保育園
  - ⑧ さがみ愛子園
  - ⑨ ふたば愛子園
  - ⑩ つちのこ保育園
  - ⑪ 保育所すこやかハウス
  - ⑫ かしわ台あおぞら保育園
  - ⑬ さくらい保育園
  - ⑭ 虹の子保育園
  - ⑮ 虹の子保育園分園
  - ⑯ にんじん村保育園
  - ⑰ 木下の保育園 海老名
  - ⑱ (仮)木下の保育園 めぐみ町
  - ⑲ 社家ゆめいろ保育園
  - ⑳ えびなの風保育園
  - ㉑ おひさま保育園
  - ㉒ ナースリースクール T&Y本郷
  - ㉓ ひなた保育園
  - ㉔ (仮)ひよこ保育園
- 地域型保育施設**
- 小規模保育施設(■)**
- ① にこにこ保育園
  - ② 海老名キッズルーム
  - ③ ぽとふ海老名
  - ④ (仮)ぽとふ上今泉
- 認可外保育施設(◇)**
- (1) ワーカーズ・コレクティブ ポケット
  - (2) ハートフルタクシー 事業所内保育所

海老名市子ども・子育て支援事業計画

個別計画

（案）

**H29 改定**

**えびな待機児童解消プラン**

平成29年 月 日策定

## 1 プラン策定目的

子ども・子育て支援事業計画では、国が示した「市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込」の算出等のための手引き」に基づき、海老名市の保育施設の目標事業量を定めました。

ここで求めた算出量と平成27年4月1日の実績に基づく10月1日の必要見込量とを比較すると大きな差異が生じたことから、平成27年11月27日に保育需要の実態に合わせた「えびな待機児童解消プラン」を策定しました。

しかしながら、平成29年4月1日の保育需要の実態と「えびな待機児童解消プラン」の目標量を比較すると、0歳児は実態が目標量を下回ったものの、1歳児以上につきましてはこれを上回っているため、改めて当プランを策定することといたしました。

改定にあたりましては、国からも「子ども・子育て支援事業計画」の中間年における見直し要請があったことから、見直しベースは「えびな待機児童解消プラン」ではなく、平成27年3月策定の「海老名市子ども・子育て支援事業計画」といたします。

なお、当プランの策定により、「海老名市子ども・子育て支援事業計画」の第IV章第3節の見直しに代えることといたします。

## 2 幼児の人口推計

子ども・子育て支援事業計画では、第四次総合計画の人口推計を使用しましたが、その後、市では「公共施設白書」で最新の人口推計を算出しているため、本プランでは公共施設白書の人口推計を用いることとします。

この中で幼児人口の推計は、平成31（2019）年までは平成27（2015）年とほぼ横ばいで推移し、その後は微減傾向となり、平成55（2043）年は平成27（2015）年対比で13%程度減少する結果となっています。

### ◆人口推計結果

（海老名市公共施設白書より）

	H27 (2015)	H30 (2018)	H31 (2019)	H35 (2023)	H45 (2033)	H55 (2043)
5 歳	1,235	1,131	1,210	1,185	1,048	1,016
4 歳	1,221	1,197	1,197	1,170	1,036	1,012
3 歳	1,141	1,186	1,188	1,149	1,026	1,013
2 歳	1,101	1,174	1,169	1,127	1,017	1,010
1 歳	1,157	1,155	1,151	1,101	1,011	1,005
0 歳	1,132	1,131	1,124	1,078	1,001	1,001
0～5 歳 合計	6,987	6,974	7,039	6,810	6,139	6,057

**3 保育所の状況**

平成 29 年 4 月 1 日現在、市内にある認可保育所は公立保育所が 6 園、私立保育所が 14 園の合計 20 園、認可保育所に移行予定の認可外保育施設が 1 園、小規模保育施設が 2 園となっています。また、認可保育所の定員については、公立保育所が 650 人、私立保育所が 1,130 人の合計 1,780 人、認可外保育施設が 40 人、小規模保育施設が 31 人となっています。平成 29 年 4 月現在、市内の認可保育所に在籍する園児は 1,804 人となっています。また、認可外保育施設に在籍する園児は 23 人、小規模保育施設に在籍する園児は 29 人となっています。

◆海老名市内の認可保育所

（平成 29 年 4 月 1 日現在）

		名称	地域	設立年	定員	在籍数
公立	1	柏ヶ谷保育園	北部	1971 年	120 人	114 人
	2	門沢橋保育園	南部	1972 年	60 人	66 人
	3	下今泉保育園	中央	1973 年	90 人	73 人
	4	中新田保育園	中央	1975 年	200 人	202 人
	5	勝瀬保育園	中央	1978 年	60 人	59 人
	6	上河内保育園	南部	2014 年	120 人	90 人
私立	1	たちばな保育園	中央	1967 年	120 人	143 人
	2	さがみ愛子園	中央	1956 年	120 人	126 人
	3	ふたば愛子園	北部	1958 年	180 人	153 人
	4	つちのこ保育園	南部	2004 年	60 人	71 人
	5	保育所すこやかハウス	中央	2007 年	60 人	72 人
	6	かしわ台あおぞら保育園	北部	2008 年	60 人	71 人
	7	さくらい保育園	北部	2009 年	60 人	73 人
	8	虹の子保育園	中央	2010 年	60 人	69 人
	9	虹の子保育園分園	中央	2010 年	30 人	31 人
	10	にんじん村保育園	北部	2011 年	60 人	69 人
	11	木下の保育海老名園	中央	2014 年	50 人	49 人
	12	社家ゆめいろ保育園	南部	2014 年	90 人	89 人
	13	えびなの風保育園	中央	2015 年	120 人	134 人
	14	おひさま保育園	北部	2016 年	60 人	50 人

◆海老名市内の認可保育所に移行予定の認可外保育施設（平成 29 年 4 月 1 日現在）

		名称	地域	設立年	定員	在籍数
1		ひよこ保育園	中央	2001 年	40 人	23 人



◆海老名市内の小規模保育施設

（平成 29 年 4 月 1 日現在）

	名称	地域	設立年	定員	在籍数
1	にこにこ保育園	北部	2015 年	19 人	17 人
2	海老名キッズルーム	中央	2017 年	12 人	12 人

4 子ども・子育て支援事業計画における目標事業量と実績との比較

子ども・子育て支援事業計画における平成 28 年・29 年の計画値と各年 4 月 1 日の実績値との間には、下記のとおり 2 歳児以下において大きな開きがあります。このため目標事業量を現状に即した形で見直す必要があります。

なお、3～5 歳児教育施設（2 号認定）は実態としてゼロである反面、保育施設（2 号認定）の実績が計画を大幅に上回っているため、これも実態に合わせた見直しを行う必要があります。

◆【0 歳児】保育施設＋地域型保育事業（3 号認定）

	H28 計画	H28 実績	H29 計画	H29 実績	H29 比較 (計画－実績)	実績 伸び率
量の見込み	285	132	285	146	139	110.6%

◆【1・2 歳児】保育施設＋地域型保育事業（3 号認定）

	H28 計画	H28 実績	H29 計画	H29 実績	H29 比較 (計画－実績)	実績 伸び率
量の見込み	907	719	907	774	133	107.6%

◆【3 歳～5 歳児（就学前）】保育施設（2 号認定）

	H28 計画	H28 実績	H29 計画	H29 実績	H29 比較 (計画－実績)	実績 伸び率
量の見込み	838	1,048	841	1,082	△241	103.2%

◆【3 歳～5 歳児（就学前）】教育施設（1 号認定）

	H28 計画	H28 実績	H29 計画	H29 実績	H29 比較 (計画－実績)	実績 伸び率
量の見込み	2,184	2,257	2,191	2,181	10	96.6%

◆【3 歳～5 歳児（就学前）】教育施設（2 号認定）

	H28 計画	H28 実績	H29 計画	H29 実績	H29 比較 (計画－実績)	実績 伸び率
量の見込み	332	0	333	0	333	—

**5 人口の推移**

平成 25 年から平成 29 年における人口は毎年増加していますが、0～5 歳児で見ると平成 27 年以降は微減傾向にあります。

◆人口推移結果

（各年 4 月 1 日現在）

	H25	H26	H27	H28	H29	備考
全 年 齢	128,531	129,193	129,397	130,440	130,860	国勢調査に基づく推計人口
0～5 歳児	6,947	7,056	6,865	6,859	6,757	住民基本台帳人口より

**6 プランによる目標事業量の設定と不足量の算出**

本プランを策定するにあたり、あらためて、平成 29 年 4 月実績をもとに目標事業量を算出します。

推計の算出に当たっては、人口推移は微減傾向であるにもかかわらず、平成 28 年 4 月と平成 29 年 4 月の実績を比較すると、0 歳児は 14 人 10.6%、1・2 歳児は 55 人 7.6%、3～5 歳児は 34 人 3.2%の増加、3～5 歳児の教育施設は 76 人 3.4%の減であったことから、この増減率が平成 31 年までは継続すると仮定し算出します。

また、施設定員については次章以降の各事業の取り組み結果の合計値で算出します。

この目標事業量と、各年の定員とを比較すると過不足量は下記のとおりとなります。

◆【0 歳児】

	H29	H30	H31
量の見込み	146	161	178
施設定員	144	175	223
過不足量	△2	14	45

◆【1・2 歳児】

	H29	H30	H31
量の見込み	774	833	896
施設定員	549	697	937
過不足量	△225	△136	41

◆【3 歳～5 歳児】保育施設（2号認定）

	H29	H30	H31
量の見込み	1,082	1,117	1,153
施設定員	1,118	1,283	1,433

過不足量	36	166	280
------	----	-----	-----

◆【3歳～5歳児】教育施設（1号認定）

	H29	H30	H31
量の見込み	2,181	2,107	2,035
施設定員	2,130	2,130	2,040
過不足量	△51	23	5

※教育施設（1号認定）のH29量の見込みについては、幼稚園に在園している児童数（私学助成も含む）とし、市外園に通園している児童333人分を含んでいますが、施設定員は市内園のみとなっています。

**7 プランによる認可保育所の取り組み**

待機児童解消のため以下の案件をプランに位置付けることとします。

- 平成29年中： 5月 ナーサリースクールT&Y本郷新設（78名）
- 9月 ひなた保育園新設（72名）
- 10月 下今泉保育園定員拡大（90名→120名）
- 平成30年： 4月（仮）ひよこ保育園新設（60名）
- 4月（仮）木下の保育園めぐみ町新設（50名）
- 平成31年： 4月 新設園（60名）2園【想定】

【0歳児】

	H29	H30	H31
量の見込み	140	143	132
施設定員	138	157	177
過不足人数	△2	14	45
確保人数	—	19	20

【1歳～2歳児】

	H29	H30	H31	定員拡大
量の見込み	749	766	763	763
施設定員	524	630	670	804
過不足人数	△225	△136	△93	41
確保人数	—	106	40	134

※1歳～2歳児の大幅な不足分については、平成31年に定員を20%増に変更することで対応

## 【3歳～5歳児】保育施設（2号認定）

	H29	H30	H31
量の見込み	1,082	1,117	1,063
施設定員	1,118	1,283	1,343
過不足人数	36	166	280
確保人数	—	165	60

## 8 プランによる認可保育所以外の取り組み

前章で整理した認可保育所以外については、基本的に「子ども・子育て支援事業計画」で位置付けた事業をプランにおいても位置付けます。

ただし、現在の状況を踏まえ、整備量については修正します。

なお、国が平成28年度からスタートさせた企業主導型保育事業についても、新たに位置付けることとします。

下記に示したもののうち平成31年に増員する取り組みは、現在のところ実現に向けて不確定要素が大きい部分もありますが、実現が困難な場合は認可保育所の取り組み拡大で補填する必要があります。

## ① 幼稚園充実事業

既存の幼稚園のうち3園が平成31年に認定こども園への移行を検討しているため、これに対応して1号認定の定員を減少します。

## 【3歳～5歳児】教育施設（1号認定）

	H29	H30	H31
量の見込み	2,181	2,107	2,035
施設定員	2,130	2,130	2,040
過不足人数	△51	23	5
確保人数	—	—	△90

※教育施設（1号認定）のH29量の見込みについては、幼稚園に在園している児童数（私学助成も含む）とし、市外園に通園している児童333人分を含んでいますが、施設定員は市内園のみとなっています。

② 認定こども園充実事業（保育分のみ）

既存の幼稚園のうち3園が平成31年に認定こども園への移行を検討しているため、これを位置づけます。

【0歳児】

	H29	H30	H31
量の見込み	—	—	10
施設定員	—	—	10
過不足人数	—	—	0
確保人数	—	—	10

【1歳～2歳児】

	H29	H30	H31
量の見込み	—	—	20
施設定員	—	—	20
過不足人数	—	—	0
確保人数	—	—	20

【3歳～5歳児】

	H29	H30	H31
量の見込み	—	—	90
施設定員	—	—	90
過不足人数	—	—	0
確保人数	—	—	90

③ 小規模保育事業

待機児童解消のため以下の案件をプランに位置付けることとします。

平成29年中： 10月 ぽとふ海老名新設（19名）

平成30年： 4月 ぽとふ上今泉新設（19名）

4月 海老名キッズルーム定員拡大（12名→18名）

平成31年： 4月 新設園（19名）1園【想定】

【0歳児】

	H29	H30	H31
量の見込み	6	18	24
施設定員	6	18	24
過不足人数	0	0	0
確保人数	—	12	6

【1歳～2歳児】

	H29	H30	H31
量の見込み	25	57	70
施設定員	25	57	70
過不足人数	0	0	0
確保人数	—	32	13

④ 家庭的保育事業

【0歳児】

	H29	H30	H31
量の見込み	—	—	1
施設定員	—	—	1
過不足人数	—	—	0
確保人数	—	—	1

【1歳～2歳児】

	H29	H30	H31
量の見込み	—	—	4
施設定員	—	—	4
過不足人数	—	—	0
確保人数	—	—	4

⑤ 居宅訪問型保育事業

【0歳児】

	H29	H30	H31
量の見込み	—	—	5
施設定員	—	—	5
過不足人数	—	—	0
確保人数	—	—	5

【1歳～2歳児】

	H29	H30	H31
量の見込み	—	—	5
施設定員	—	—	5
過不足人数	—	—	0
確保人数	—	—	5

⑥ 事業所内保育事業

【0歳児】

	H29	H30	H31
量の見込み	—	—	6
施設定員	—	—	6
過不足人数	—	—	0
確保人数	—	—	6

【1歳～2歳児】

	H29	H30	H31
量の見込み	—	—	24
施設定員	—	—	24
過不足人数	—	—	0
確保人数	—	—	24

⑦ 企業主導型保育事業

平成 29 年度中に市内に新設及び新設予定の企業主導型保育事業者を位置づけます。

【1 歳～2 歳児】

	H29	H30	H31
量の見込み	—	10	10
施設定員	—	10	10
過不足人数	—	0	0
確保人数	—	10	—



**9 まとめ****【待機児童ゼロ達成に向けて】**

これまでに整理したように、現在予定している様々な取り組みが実施されると、平成31年には見込量を定数が充足します。このようなことから、平成31年までの可能な限り早い時期の待機児童ゼロを目指し、民間保育園と連携・協力し取り組んでまいります。

**【民間保育園の設立支援】**

6章では、現在、認可保育所充実事業として民間保育園の新設、認可化移行等を定数に参入しているため、実現に向け、しっかりとしたサポートをする必要があります。ただし、その他の事業については、現在のところ実現性は未知数であるため、今後、新たに民間からの設置等の相談があれば、地域ごとの需要状況等を見極めた上で、的確な対応が求められます。

**【将来の公立保育園のあり方】**

このプランは、平成31年の保育需要のピークに合わせた待機児童解消計画となっておりますが、期間内においても可能な限り待機児童ゼロの前倒しを目指します。しかし、将来的には保育需要の減少が見込まれることと、公立保育園については老朽化が著しい園もあるため、将来にわたる公立保育園のあり方を整理する必要があります。